

## 笛吹市環境基本計画

### 平成 23 年度取り組み進捗状況について

#### ■笛吹市環境基本計画とは

笛吹市環境基本計画は、笛吹市の素晴らしい自然を次世代へと受け継ぎ、幅広い環境問題に対応していくため、市民、事業者、行政などすべての主体が連携し、総合的かつ計画的に取り組を進めていくための具体的な目標や期間を定めたもので、平成 23 年 4 月に策定されました。

計画期間は平成 23 年度から 32 年度までの 10 年間で、笛吹市が目指す環境像「清流と緑の大地 桃源郷 未来につなぐ 笛吹市」の実現を目指しています。

#### ■平成 23 年度取り組み進捗状況について

環境像実現のために環境目標と施策が定められており、取り組み進捗状況を毎年度公表することとなっています。進捗状況の点検・評価については、定量的な指標として設定されている「環境指標」の「基準値（計画策定時の現状値）」と「平成 23 年度の現状値」を比較して行いました。

平成 23 年度取り組み進捗状況については別表のとおりです。

#### 【別表の見方】

##### ①環境指標の種類

- 成果指標・・・・・・・・目標への到達度
- 取り組み指標・・・・・・・・目標達成に向けた取り組みの進捗状況
- △モニタリング指標・・・経年変化を把握するための指標（目標設定なし）

##### ②進捗状況の見方

- ・・・基準値より現状値が上がった・目標に近づいた指標
- ▲・・・基準値より現状値が下がった指標
- ・・・基準値維持の指標
- 空欄・・・事情により現状値がない指標

##### ③コメント欄

環境要素ごとの主な環境指標について、担当課のコメントを記載しています。

全体の結果は下記のとおりで、現状値が上がった・目標に近づいた指標は全体の 37.6%でした。

- （現状値が上がった・目標に近づいた指標）・・・59 項目
- ▲（現状値が下がった指標）・・・・・・・・・・43 項目
- （基準値維持の指標）・・・・・・・・・・39 項目
- 空欄（現状値なしの指標）・・・・・・・・・・16 項目

#### ■今後の取り組みについて

平成 23 年度は環境基本計画の取り組み初年度でしたが、現状値が上がった・目標に近づいた環境指標は 59 項目で全体の 37.6%でした。

進捗状況を笛吹市環境審議会・笛吹市環境市民委員会・庁内推進委員会へ報告したところ、委員の方からは、「太陽光発電システムの補助金交付件数は中間目標を大きく超えており、非常に導入が進んでいる」という評価や、「環境教育的な体験学習会の開催が少ない」、「まちの美化、マナー・モラルの進捗状況が良くない」、「ごみ減量 53 パーセント達成までの道のりをどのように考えているか」などのご意見・ご質問をいただきました。

いただいたご意見にお応えしていくため、「教育委員会と連携をとり、学校と調整しながら積極的に体験学習等を開催していく」、「アダプトプログラム（公共の場所の定期的な清掃ボランティア活動を行う）登録団体数を増やししながら、普及活動を進める」、「生ゴミの減量、その他プラスチック・ミックスペーパーなどの資源物の分別徹底」などに取り組みながら、他の環境指標も含めて平成 23 年度の進捗状況を上回るよう今後の取り組みを進めていきます。

笛吹市環境基本計画 平成23年度取り組み進捗状況

●：成果指標 目標への到達度を表す指標  
 ○：取り組み指標 目標達成に向けた取り組みの進捗状況を表す指標  
 △：モニタリング指標 継続的に数値をモニタリングし、状況の経年変化を把握する指標

進捗状況の見方(基準値と現状値の比較)  
 ○ 数値が上がった  
 ▲ 数値が下がった  
 → 基準値維持  
 空欄 H23数値なし

環境目標	環境要素	環境指標	単位	現状(H23)	中間目標(H27)	進捗状況	備考	コメント	
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-1 農地・果樹園	「農地や土との親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	59.1	—	65		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし	芦川地区で実施した保育園児(市内2保育所対象)の農業体験を開催したため、農業体験・交流イベント参加者数が増えた。
		農用地面積	● ha	3,587	3,558.8	3,587	▲		
		耕作放棄地の面積	● ha	171	169	140	○		
		農地パトロール実施回数	○ 回	1	1	2	→		
		新しく耕作を始めた人数、耕作希望者数	○ 人	38	3	40	▲		
		学校給食において地元農産物を使用する割合	○ %	12	13	15	○		
		バイオマス資源としての果樹剪定枝等の回収量	○ t	—	—	851		バイオマスセンター開設後から数値把握(H27以降)	
		農業体験・交流イベント開催数	△ 回	2	4	—	○		
		参加者数	△ 人	100	153	—	○		
		農業学習会、セミナーの開催回数	△ 回	20	20	—	→		
	参加者数	△ 人	600	648	—	○			
	市民農園の面積	△ m <sup>2</sup>	9,412	8,918	—	▲			
	エコファーマー認定者数	△ 人	1,873	1,765	—	▲			
	認定農業者数	△ 人	526	517	—	▲			
	1-2 森林	「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	● %	77.3	—	85		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし	林業体験については、学校行事における調整ができず未実施となっているため、実施学校数が減少した。
		林野面積	● ha	11,836	11,836	11,836	→		緑の少年少女隊を設置している学校を中心に、教育委員会とも連携し林業体験の実施に取り組んでいく。
		林業体験の実施学校数	○ 校	9	0	10	▲		
		参加生徒数	○ 人	255	0	300	▲		
		森林体験の実施回数	△ 回	3	1	—	▲		
		参加者数	△ 人	200	150	—	▲		
森林施業計画認定面積		△ ha	1,945.69	1,962.05	—	○			
森林保全整備事業実施面積(累計)		△ ha	323	323	—	→			
間伐面積(累計)		△ ha	233.61	276.58	—	○			
植樹面積(累計)		△ ha	57.22	66.33	—	○			
1-3 河川・水辺	「水や水辺との親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	40.2	—	45		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし	笛吹市沿岸建設安全推進協議会の協力により、河川清掃が実施できたため、河川清掃活動の参加人数が増えた。	
	多自然工法を導入した事業件数	○ 件	2	0	1	▲			
	アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備)	○ 団体	3	3	5	→			
	登録人数	○ 人	77	91	97	○			
	河川の清掃活動実施回数	△ 回	2	4	—	○			
	参加人数	△ 人	200	661	—	○			
	特定外来種に関する広報回数	○ 回	0	0	1	→			
	鳥獣保護区の指定数	△ 箇所	2	2	—	→			
	面積	△ ha	15.49	15.49	—	→			
	自然環境保全地域の指定数	△ 箇所	4	4	—	→			
面積	△ ha	30.63	30.63	—	→				
1-4 動植物・生態系	動植物に関する天然記念物の件数(県)	△ 件	8	7	—	▲	境川町のヤツササメ指定解除(枯れたため)	野生動物の食害等被害件数が減った理由としては、獣害被害防止用柵等の設置エリアが広がっているとともに、有害獣の個体数が減少したものと考えられる。	
	(市)	△ 件	35	35	—	→		また、有害鳥獣による食害被害が想定より少ないため、駆除実施回数も減った。	
	けがや病気の野生生物の保護件数	△ 件	6	4	—	○			
	野生動物の食害等による被害件数(苦情件数)	△ 件	27	12	—	○			
	農作物被害防止に向けた有害鳥獣駆除実施回数	△ 回	27	9	—	○			
	駆除数	△ 頭	627	615	—	○			
	観察・発見された特定外来種の個体数	△ 頭	2	2	—	→			
	1-5 自然とのふれあい	「生き物とのふれあいややすさ」に満足している市民の割合	● %	45.6	—	50		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし	小学校に講師を派遣し、渋川にすむ生物の観察会を実施した。
		自然観察会等のイベント開催数	○ 回	0	1	1	○		

環境目標	環境要素	環境指標	単位	現状(H23)	中間目標(H27)	進捗状況	備考	コメント	
健康で安らぎのあるまち	2-1 大気環境	「空気のきれいさ(車の排気ガス、悪臭等)」に満足している市民の割合	● %	58.1	—	63		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし	廃プラスチック等の回収量が増えた理由としては、地区で開催されるごみ分別説明会、広報紙への記事掲載等により、プラスチック分別に対する市民の意識が向上しつつあること、また、H22年度に収集場所を増設、H23年度から石和地区の収集日増と、持ち出しやすい状況が整えられたためと思われる。
		廃プラスチック等の回収量	○ t	271	276	275	○		
		廃プラスチック等の適正処理周知、指導回数	○ 回	86	57	90	▲		
		大気汚染に係る測定結果(NOx年平均値)	△ ppm	0.022	0.010	—	○		
		(SPM年平均値)	△ mg/m <sup>3</sup>	0.013	0.020	—	▲		
		畜産農家に対する悪臭の指導回数	△ 回	1	1	—	→		
		工場・事務所における悪臭の指導回数	△ 回	3	1	—	○		
		「野焼き」に関する苦情件数	△ 件	63	34	—	○		
		「悪臭」に関する苦情件数	△ 件	35	12	—	○		
		2-2 水・土壌環境	「水のきれいさ(河川・水路や池沼等)」に満足している市民の割合	● %	34.2	—	42		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし
	笛吹川のBOD平均値(直近3カ年)		● mg/l	1.03	0.93	1	○		
	水質基準達成項目比率		● %	84	85.6	88	○		
	地下水に係る環境基準の達成地点の割合(井戸水)		● %	85.4	87.3	90	○		
	生活排水処理率		○ %	70.5	70.7	76.4	○		
	公共下水道処理人口		○ 人	41,440	42,011	44,440	○		
公共下水道処理人口普及率	○ %		58	58.9	65	○			
合併浄化槽設置済人口	○ 人		7,831	8,419	9,931	○			
農業集落排水処理人口	○ 人		515	473	510	○			
生活道路・水路の整備に関する市民満足度	△ %		55.7	50.4	—	▲			
健康で安らぎのあるまち	2-3 廃棄物	「日常生活から発生する、ごみの処理のきれいさ」に満足している市民の割合	● %	51.4	—	53		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし	市役所では、ごみの排出量削減を呼びかけているが、ごみ総排出量が減った理由としては、不況により消費傾向が鈍ったことが、ごみの発生抑制につながったと思われる。
		1人1日当たりのごみ排出量(生活系ごみ)	● g/人・日	667.5	666.3	600	○		
		(事業系ごみ)	● g/人・日	315.7	292.9	300	○		
		ごみ総排出量	● t	25,849	25,229	25,000	○		
		生活系可燃ごみの減量率(対基準年度:H16年度)	● %	29	28	53	▲		また、資源物回収奨励金登録団体の資源物回収量が減ったことも、同様の理由によるものと考えられる。
		リサイクル率	● %	21	21	25	→		
		容器包装廃棄物分別収集量	● t	271	276	275	○		
		古紙分別収集量(新聞・雑誌・ダンボール・ミックス紙)	● t	2,912	2,641	2,950	▲		
		資源物の混入量(可燃)	● t	7,755	7,274	7,700	○		
		(不燃)	● t	1,290	993	1,200	○		
	「買い物の際のレジ袋利用抑制」にいつも取り組んでいる市民の割合	○ %	85	85	88	→			
	資源物回収奨励金登録団体数	○ 団体	132	132	135	→			
	資源物回収奨励金登録団体の資源物回収量	○ kg	3,076,639	2,725,607	3,138,172	▲			
	生ごみ処理機購入助成件数	○ 件	196	95	200	▲			
	一般廃棄物許可業者説明会開催数	○ 回	0	0	3	→			
廃食用油回収量(市で回収したもの)	○ l	12,255	18,132.8	12,700	○				
廃食用油からの年間バイオディーゼルの精製量(BDF)	○ l	9,300	9,400	11,400	○				
2-4 身近な生活環境	「まちな静けさ(騒音や振動)」に満足している市民の割合	● %	60.5	—	67		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし	騒音・振動等の苦情については、必要に応じて現場確認や原因者への指導等の対応をしている。まちな静けさや環境を育てよう、今後も努力していく。	
	騒音測定における環境基準の達成地点の割合	● %	92.3	93.7	96	○			
	「騒音・振動」に関する苦情件数	△ 件	14	9	—	○			
	工場や深夜営業店舗等に対する指導回数	△ 回/年	5	0	—	○			

環境目標	環境要素	環境指標	単位		現状 (H23)	中間目標 (H27)	進捗状況	備考	コメント
快適で趣のあるまち	3-1 公園・緑地	市民一人当たりの緑地面積	●	㎡	8.6	8.6	8.85	→	東日本大震災に伴う節電対策として、全庁に呼びかけて緑のカーテンを設置したため、実施箇所が増えた。
		公園・緑地数	●	箇所	19	19	20	→	
		都市公園数	●	箇所	6	6	7	→	
		校庭芝生化に取り組む学校数	○	校	0	0	10	→	
		公共施設における緑のカーテン実施数	○	箇所	3	41	22	○	
		身近に自然とふれあうことができると感じている市民の割合	△	%	70.7	69.7	—	▲	
		公園を利用している市民の割合(H22～)	△	%	35.9	38.6	—	○	
		都市公園面積	△	ha	37.25	37.25	—	→	
	3-2 歴史・文化的環境	市の文化遺産や地域の文化に触れたことがある市民の割合	●	%	43.9	23	44	▲	企画展・特別展・イベント参加者数が減少したのは、東日本大震災により、全国的にイベント等への参加自粛ムードの影響を受けたと思われる。
		文化財を活用したイベントの開催数	○	回	3	3	3	→	
		参加者数	○	人	230	250	280	○	
		文化施設(郷土館等)を活用した企画展・特別展・イベント参加者数	○	人	7,635	3,315	5,200	▲	
		開催数	△	回	8	8	—	→	
		伝統芸能継承団体数	△	団体	11	11	—	→	
		登録文化財数	△	件	3	3	—	→	
		指定文化財数	△	件	218	216	—	▲	
		うち国指定文化財数	△	件	15	15	—	→	
		うち県指定文化財数	△	件	66	65	—	▲	
	うち市指定文化財数	△	件	138	139	—	○		
	3-3 郷土景観	「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	●	%	77.3	—	85		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし
		電線類地中化の整備延長	△	m	2,779.3	2,779.3	—	→	今後、石和温泉駅北口新設道路には、地中化共同溝(電気・ガス・水道など)を設置予定
	3-4 まち美化、暮らしのマナー・モラル	「まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱など)」に満足している市民の割合	●	%	40.7	—	45		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし
		公害や不法投棄がなく衛生的に生活できると答えた市民の割合	●	%	49.3	48.8	55	▲	アダプトプログラム登録団体数は減少しているが、団体ごとの年間活動回数は増加傾向にあること、また、年間活動回数が少なく、アダプトプログラム登録団体の要件を満たさない団体企業の活動が活発化しつつあるため、清掃活動の参加者数が増えたのではないと思われる。
		アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備含む)	○	団体	19	17	20	▲	
		登録人数	○	人	581	507	700	▲	
		清掃活動の参加者数	○	人	1,830	1,890	2,000	○	
		意識啓発イベントの開催回数	○	回	86	57	90	▲	
参加者数		○	人	2,650	1,629	2,700	▲		
花の苗配布団体数		○	団体	61	65	85	○		
パトロール実施日数		△	日	240	240	—	→		
不法投棄の発見報告件数		△	件	290	456	—	▲		
不法投棄物処理件数		△	件	287	441	—	▲		
「不法投棄」に関する苦情件数		△	件	18	3	—	○		
「空き地や耕作放棄地の雑草」に関する苦情件数		△	件	46	61	—	▲		
空地等の管理人に対する指導件数		△	回	39	59	—	▲		
啓発看板の配布件数		△	件	35	122	—	▲		
地球環境の保全に貢献するまち	4-1 地球温暖化	市営バスの利用者数	●	人	28,668	29,500	30,101	○	
		住宅用太陽光発電システム補助金交付件数(累計)	○	件	253	806	553	○	
	環境家計簿提出件数	○	件	47	13	52	▲		
	LED照明導入小中学校数	○	校	0	0	10	→		
	デマンド交通の利用者数	○	人	—	3,600	8,940		H23数値を今後の基準値とする	
	公用車へのエコカーの導入台数	○	台	42	59	67	○		
	環境学習の一環として簡易測定を実施している小中学校数	○	校	6	6	10	→		
	幹線道路網が整備され移動しやすいまちだと感じている市民の割合	△	%	54.3	45.5	—	▲		
	鉄道やバスが利用しやすいまちだと感じている市民の割合	△	%	19.9	15.8	—	▲		
	JR石和温泉駅1日当り乗・降者数	△	人	5,338	5,176	—	▲		
	一宮・御坂インターチェンジ1日当り乗・降台数	△	台	8,300	8,500	—	○		
	地球温暖化対策に関わるキャンペーン実施回数	△	回	1	1	—	→		

環境目標	環境要素	環境指標	単位		現状 (H23)	中間目標 (H27)	進捗状況	備考	コメント	
自ら動き環境保全に取り組むまちづくり	5-1 環境教育・環境学習	「学校や地域社会における環境教育の質・量」に満足している市民の割合	●	%	43.4	—	46		H27にアンケート実施予定のためH23数値なし	毎年2校で実施している移動環境教室に加え、H23年度は、エコキャンドル作りやエコラフト工房の開催、市民団体主催エコ教室への講師としての参加などがあったため、環境学習イベント開催数が増えた。
		みどりの少年少女隊組織数	●	団体	9	8	10	▲		
		環境学習イベント開催数(子ども環境教室、環境ポスター展)	○	回	2	7	4	○		
		やまなしエコティーチャーによる出前講座開催小中学校数(累計)	○	校	2	1	10	▲		
		環境年次報告書の公表回数	○	回	0	0	1	→		
		環境関連図書数(学校)	○	冊	3,521	3,521	3,540	→		
		〃(市立)	△	冊	2,125	2,067	—	▲		
		河川環境および林業体験実施回数	△	回	3	0	—	▲		
	5-2 各主体による環境保全活動	「エコ活動に取り組んでいる」市民の割合	●	%	82.4	78.3	85	▲	グリーン購入該当商品の低価格化・多品種化が進んでおり、選択の幅が広がっている。今後もできるだけグリーン購入を行うように心がけていく。	
		環境に関する広報特集記事数	○	件/年	0	1	1	○		
		環境に取り組む個人・団体等の活動を紹介した広報記事数	○	件/年	9	10	10	○		
		環境保全に関するNPO法人数	○	団体	2	3	7	○		
		市が主催する、各主体の交流イベント開催数	△	回	2	2	—	→		各主体が自主的に主催する交流イベントの実現に向けた支援策の検討
		市役所におけるグリーン購入物品数(ボールペン・シャーペン)	△	%	—	100	100			H23数値を今後の基準値とする
		(ファイル)	△	%	—	100	100			
(コピー用紙(白))	△	%	—	100	100					

平成23年度は、笛吹市環境基本計画策定後の取り組み初年度でした。環境指標を、①数値が上がったもの、②数値が下がったもの、③基準値維持、④事情により数値なしの4種類に区分けしたところ、下記の結果になりました。数値が上がった指標は、59項目(37.6%)となりました。

①	○	数値が上がった	59項目
②	▲	数値が下がった	43項目
③	→	基準値維持	39項目
④	空欄	H23数値なし	16項目